



【発行】
桐生工業高校PTA



PTA会長
黒島 則和

心を離さず

会員の皆様、日頃よりPTA活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。今年度の会長を務めさせていただきます。今年度は新型コロナウイルスの世界的な流行によって、学校は前代未聞のスタートとなりました。学校再開までの長い間、また再開されてから今日に至るまで、皆様も大

変なご苦労をされたことと存じます。しかしながらその一方、ステイホームによってご息・ご息女と過ごされる時間も増えたのではないのでしょうか。私がPTA役員に携わるようになったのは今から十一年前です。娘の小学校入学とともに副会長という役職を務める事になりました。少しでも子どもに関わることをしたいという

思いだけで軽くお引き受けしたのがきっかけでした。そのあと会長も務めさせていただき、中学校と高校も途切れることなくPTAに携わり、今年度ついに十二年目に突入してしまいました。しかし、この十一年間、子どもの行事に参加できなかったり、たくさん保護者の方と知り合えたこと、とても有意義な時間であったと自負しております。まだまだ下にお子様がいらっしゃる方は、ぜひ積極的にPTA役員をお引き受けになることをオススメします。ところどころ皆様は「子育て四訓」という言葉

令和二年度 本部役員紹介

会長	黒島 則和
副会長	関 緑
副会長	島田 光貴
副会長	杉戸 玲子
副会長	廣瀬 仁美
副会長	蜂須 清香
副会長	齋川 幸花
副会長	平野 博
書記	石井 裕美
書記	木戸 稔夫
会計	伊藤 直子
会計	武井 恵
監査	佐藤 美和
監査	鈴木 幸江

進呈いたします 子育て山柳 クリアファイル

たくさんの御応募ありがとうございました。このたび全応募作品を掲載したオリジナルクリアファイルを製作いたしました。本企画を記念して会員の皆様に1部ずつ進呈いたします。

- ・スペースの都合上、ペンネームは省略させていただきます。
- ・どの作品も優劣つけ難く、当初予定していた優秀作の選定は見送りとさせていただきます。何卒ご容赦ください。
- ・今後ともPTA活動に御理解と御協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。(本部役員一同)



校長 藤生 卓也

父親失格

—自分の子育てを振り返って—

保護者の皆様には日頃より本校の教育活動に対し、多大なる御理解と御協力をいただき心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスの関係で今年度は異例づくしと言っても過言ではありません。新しい取り組みとして「子育て川柳」を提案し、川柳の募集を始めました。会員の皆様のおかげで多くの川柳が集まり、それをクリアファイルにしてお配りすることができましたことを大変うれしく思います。会員の皆様には是非一

す。子どもは親のすることと真似たり、知らず知らずのうちに性格や行動が似てきます。親の行動が子供の行動や考えに強く影響を与え、子どもを見れば、その子の親がどのような親なのか、それなりに分かるとも言われます。私自身、教員という立場上、これまで子育てについて偉そうなことを言ってきました。今でも言っています。しかし、自分の子育てを振り返った時、皆様にお話できるような立派な子育ては何一つで

きていません。正確な言い方をすると、子育てにあまり関わっていないなかつたように思えます。子どものお手本となるような行動を取ってきたわけでもありません。父親としては失格です。

アメリカの作家、教育者でもあるドロシー・ロー・ノルト(Dorothy Law Nolte)の著作に「子どもが育つ魔法の言葉」があります。その一部を紹介いたしますので、子育ての参考にしてもらえればと思います。

批判ばかりされた子どもは非難することをおぼえる
殴られて大きくなった子どもは力にたよることをおぼえる
笑いのものにされた子どもはものを言わずにいることをおぼえる
皮肉にさらされた子どもは鈍い良心のもちぬしとなる

しかし、激励をうけた子どもは自信をおぼえる
寛容にであった子どもは忍耐をおぼえる
賞賛をうけた子どもは評価することをおぼえる
フェアプレーを経験した子どもは公正をおぼえる
友情を知る子どもは親切をおぼえる
安心を経験した子どもは信頼をおぼえる
可愛がられ抱きしめられた子どもは
世界中の愛情を感じとることをおぼえる

「子は親の鏡」「親は子の鏡」と言われることがあります。前者は「子どもは親の行動をよく見ている」、後者は「親は子の手本である」と言う意味で使われているのだそうで

「子は親の鏡」「親は子の鏡」と言われることがあります。前者は「子どもは親の行動をよく見ている」、後者は「親は子の手本である」と言う意味で使われているのだそうで

「子は親の鏡」「親は子の鏡」と言われることがあります。前者は「子どもは親の行動をよく見ている」、後者は「親は子の手本である」と言う意味で使われているのだそうで

「ドロシー・ロー・ノルト、レイチャル・ハリス著『子どもが育つ魔法の言葉』PHP文庫 石井千春訳」から引用

